

事務事業評価シート

23年度実施の事務事業 (24年度評価実施)	<input checked="" type="checkbox"/> サービス事業 <input type="checkbox"/> プロジェクト事業 <input type="checkbox"/> 定型事業 <input type="checkbox"/> 投資的事業			
会計区分(会計名を記入)	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計()		<input type="checkbox"/> 企業会計()	
第1期実施計画での 分類番号/事業番号/枝番号	1062	1	担当部課名	市民生活部地域活性課
			担当課長名	東 勇輔

1 事務事業の概要

施策名	農園芸の振興
第1期実施計画の事業名	農業経営支援事業
財務会計上の事業名	農業経営支援事業
事業の対象【誰(何)を】	市場等へ出荷する販売農家
事業の手段【どうする(させる)ことで】	有機肥料、及び結束テープの購入費用助成を行う。
事業の目的【どのような結果を得るか】	農地地力の保持、出荷の推進及び出荷野菜のPR及び規格統一を図り、新鮮で安全な地場野菜を推進する。
実施期間	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 (昭和54年度 ~) <input type="checkbox"/> 時限 (平成 年度~平成 年度)
事業内容の見直し	<input checked="" type="checkbox"/> 実施 (直近) 平成23年度 <input type="checkbox"/> 未実施
※見直し内容を記入	補助額減額
実施根拠	<input type="checkbox"/> 国・府の制度 <input type="checkbox"/> 国・府の制度+市独自の制度 <input checked="" type="checkbox"/> 市独自の制度
※根拠となる法令の条項までを記入	池田市農業振興事業補助金交付要綱

2 事業コスト・指標値の推移

区分	21年度 (決算)		22年度 (決算)		23年度 (決算)		24年度 (予算)		H23/H22	
	事業費(千円)	1,048		793		700		700		88.3%
人件費(人・千円)	0.22人	1,804	0.22人	1,760	0.20人	1,600	0.20人	1,560	90.9%	
内訳	正職員	0.22人	1,804	0.22人	1,760	0.20人	1,600	0.20人	1,560	90.9%
	再任用短時間勤務職員		0		0		0		0	-
	任期付短時間勤務職員		0		0		0		0	-
	非常勤職員		0		0		0		0	-
	アルバイト		0		0		0		0	-
支出合計 A	2,852		2,553		2,300		2,260		90.1%	
財源	国・府支出金									-
	受益者負担 B									-
	その他財源									-
	一般財源	2,852		2,553		2,300		2,260		90.1%
受益者負担率 B÷A									-	

指標値	区分	内 容	単位	21年度	22年度	23年度	24年度	目標値 (H26)
				(実績)	(実績)	(実績)	(予定)	
(1)	<input type="checkbox"/> 活動 <input checked="" type="checkbox"/> 成果	野菜等生産量	t	243	249	249	249	249
(2)	<input checked="" type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果	有機肥料等購入費助成額	千円	1,048	793	697	700	700
(3)	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
(4)	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							

3 成果の達成状況

<input checked="" type="checkbox"/> A 目標に向かって順調に推移している <input type="checkbox"/> B 目標に向かって順調に推移していない <input type="checkbox"/> C 判断できない	<input type="checkbox"/> 1 事業内容・手法を改善 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現在の事業内容を継続 <input type="checkbox"/> 3 事務事業を廃止	選択の理由 有機農業推進のため
(参考) 今後のアウトソーシング導入の可否	<input type="checkbox"/> 1 導入済 <input type="checkbox"/> 2 事業の全てが可能 <input type="checkbox"/> 3 事業の一部が可能 <input checked="" type="checkbox"/> 4 不可能	選択の理由 事業の性格による

4 担当部長が考える今後の方向性・見通し

評価を踏まえた課題と対策	(参考) 昨年度記載の「評価を踏まえた課題と対策」
土壌改良、地力を保持するとともに、安心・安全な地場野菜の生産を支援する。健康志向による食への関心増加から、今後も有機肥料を利用した作物への需要が高まっていくことが予想されるが、農家の有機農業への関心・理解はいまだ高いとはいえない状況なので、事業を継続することで有機農業導入への足がかりとする。	

事務事業評価シート

23年度実施の事務事業 (24年度評価実施)	<input checked="" type="checkbox"/> サービス事業 <input type="checkbox"/> プロジェクト事業 <input type="checkbox"/> 定型事業 <input type="checkbox"/> 投資的事業			
会計区分(会計名を記入)	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計()		<input type="checkbox"/> 企業会計()	
第1期実施計画での 分類番号/事業番号/枝番号	1062	2	担当部課名	市民生活部地域活性課
			担当課長名	東 勇輔

1 事務事業の概要

施策名	農園芸の振興
第1期実施計画の事業名	生産調整推進対策事業
財務会計上の事業名	生産調整推進対策事業
事業の対象【誰(何)を】	土地地目「田」所有の農家
事業の手段【どうする(させる)ことで】	稲作・転作を合わせ、米の生産調整を行う。
事業の目的【どのような結果を得るか】	米作りの本来あるべき姿を実現するため、稲作・転作を組み合わせ、米の生産調整を行い、米の需給及び価格の安定を図る。
実施期間	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 (平成 年度 ~) <input type="checkbox"/> 時限 (平成 年度~平成 年度)
事業内容の見直し	<input type="checkbox"/> 実施 (直近) 平成 年度 <input checked="" type="checkbox"/> 未実施
※見直し内容を記入	
実施根拠	<input checked="" type="checkbox"/> 国・府の制度 <input type="checkbox"/> 国・府の制度+市独自の制度 <input type="checkbox"/> 市独自の制度
※根拠となる法令の条項までを記入	農業者個別所得補償制度実施要綱

2 事業コスト・指標値の推移

区分	21年度 (決算)		22年度 (決算)		23年度 (決算)		24年度 (予算)		H23/H22	
	事業費(千円)	人件費(人・千円)	正職員	再任用短時間勤務職員	任期付短時間勤務職員	非常勤職員	アルバイト	支出合計 A		
事業コスト等		0.10人	820	0.20人	1,600	0.30人	2,400	0.30人	2,340	150.0%
内訳	正職員	0.10人	820	0.20人	1,600	0.30人	2,400	0.30人	2,340	150.0%
	再任用短時間勤務職員		0		0		0		0	-
	任期付短時間勤務職員		0		0		0		0	-
	非常勤職員		0		0		0		0	-
	アルバイト		0		0		0		0	-
財源	国・府支出金									-
	受益者負担 B									-
	その他財源									-
	一般財源		820		1,600		2,400		2,340	150.0%
	受益者負担率 B÷A									-

指標値	区分	内 容	単位	21年度	22年度	23年度	24年度	目標値 (H26)
				(実績)	(実績)	(実績)	(予定)	
(1)	<input type="checkbox"/> 活動 <input checked="" type="checkbox"/> 成果	米の生産量の抑制	t	79	84	81	75	75
(2)	<input type="checkbox"/> 活動 <input checked="" type="checkbox"/> 成果	米の作付面積	ha	16	16	15	13	13
(3)	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
(4)	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							

3 成果の達成状況

<input checked="" type="checkbox"/> A 目標に向かって順調に推移している <input type="checkbox"/> B 目標に向かって順調に推移していない <input type="checkbox"/> C 判断できない	<input type="checkbox"/> 1 事業内容・手法を改善 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現在の事業内容を継続 <input type="checkbox"/> 3 事務事業を廃止	選択の理由 農家の所得補償のため
(参考) 今後のアウトソーシング導入の可否	<input type="checkbox"/> 1 導入済 <input type="checkbox"/> 2 事業の全てが可能 <input type="checkbox"/> 3 事業の一部が可能 <input checked="" type="checkbox"/> 4 不可能	選択の理由 事業の性格による

4 担当部長が考える今後の方向性・見通し

評価を踏まえた課題と対策	(参考) 昨年度記載の「評価を踏まえた課題と対策」
米づくりの本来あるべき姿を実現するため、稲作・転作を組み合わせ、米の受給及び価格の安定を図るための対策を踏まえ、本紙細河地域の植木農家、市街化区域の軟弱野菜農家の増加を図る為、規模拡大交付金の対象である認定農業者の育成に努めると共に、地域の担い手として将来に向けて持続性のある経営体としての生産拡大に努めていきたい。	

事務事業評価シート

23年度実施の事務事業 (24年度評価実施)	<input checked="" type="checkbox"/> サービス事業 <input type="checkbox"/> プロジェクト事業 <input type="checkbox"/> 定型事業 <input type="checkbox"/> 投資的事業			
会計区分(会計名を記入)	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計()		<input type="checkbox"/> 企業会計()	
第1期実施計画での 分類番号/事業番号/枝番号	1062	3	担当部課名	市民生活部地域活性課
			担当課長名	東 勇輔

1 事務事業の概要

施策名	農園芸の振興
第1期実施計画の事業名	鳥獣被害対策事業
財務会計上の事業名	鳥獣被害対策事業
事業の対象【誰(何)を】	農家及び猟友会池田支部
事業の手段【どうする(させる)ことで】	捕獲檻の購入・貸出、猟友会池田支部への助成
事業の目的【どのような結果を得るか】	植木、水稻、野菜など農作物に被害を及ぼしているシカ、イノシシ、カラス、アライグマ等を捕獲し、被害の拡大や市街地への侵入を防止する。
実施期間	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 (平成2年度 ~) <input type="checkbox"/> 時 限 (平成 年度~平成 年度)
事業内容の見直し	<input checked="" type="checkbox"/> 実施 (直近) 平成23年度 <input type="checkbox"/> 未 実 施
※見直し内容を記入	捕獲鳥獣の増加に伴い、猟友会池田支部への報償金増額
実施根拠	<input type="checkbox"/> 国・府の制度 <input checked="" type="checkbox"/> 国・府の制度+市独自の制度 <input type="checkbox"/> 市独自の制度
※根拠となる法令の条項までを記入	大阪府林業関係補助金交付要綱第3条

2 事業コスト・指標値の推移

区 分	21 年度 (決算)		22 年度 (決算)		23 年度 (決算)		24 年度 (予算)		H23/H22	
	事業費(千円)	1,350		850		905		1,082		106.5%
人件費(人・千円)	0.32人	2,624	0.50人	4,000	0.40人	3,200	0.40人	3,120	80.0%	
内 訳	正職員	0.32人	2,624	0.50人	4,000	0.40人	3,200	0.40人	3,120	80.0%
	再任用短時間勤務職員		0		0		0		0	-
	任期付短時間勤務職員		0		0		0		0	-
	非常勤職員		0		0		0		0	-
	アルバイト		0		0		0		0	-
支出合計 A	3,974		4,850		4,105		4,202		84.6%	
財 源	国・府支出金									-
	受益者負担 B									-
	その他財源									-
	一般財源		3,974		4,850		4,105		4,202	84.6%
受益者負担率 B÷A									-	

指 標 値	区 分	内 容	単 位	21 年度	22 年度	23 年度	24 年度	目標値 (H26)
				(実績)	(実績)	(実績)	(予定)	
(1)	<input type="checkbox"/> 活動 <input checked="" type="checkbox"/> 成果	捕獲頭数(イノシシ、シカ、アライグマ)	頭	58	113	67	70	70
(2)	<input type="checkbox"/> 活動 <input checked="" type="checkbox"/> 成果	被害面積	m ²	26,000	26,000	26,000	26,000	26,000
(3)	<input checked="" type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果	猟友会池田支部への駆除支援額	千円	380	380	470	470	470
(4)	<input checked="" type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果	進入防止網の配布	枚	570	415	449	375	400

3 成果の達成状況

<input checked="" type="checkbox"/> A 目標に向かって順調に推移している <input type="checkbox"/> B 目標に向かって順調に推移していない <input type="checkbox"/> C 判断できない	<input type="checkbox"/> 1 事業内容・手法を改善 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現在の事業内容を継続 <input type="checkbox"/> 3 事務事業を廃止	選択の理由	大阪府全域で有害鳥獣被害が増加しているものの、池田市では現在の事業により、一定の被害抑止効果が見られるため。
(参考) 今後のアウトソーシング導入の可否	<input checked="" type="checkbox"/> 1 導入済 <input type="checkbox"/> 2 事業の全てが可能 <input type="checkbox"/> 3 事業の一部が可能 <input type="checkbox"/> 4 不可能	選択の理由	アライグマ搬送委託契約:池田サンシー(株)

4 担当部長が考える今後の方向性・見通し

評価を踏まえた課題と対策	(参考)昨年度記載の「評価を踏まえた課題と対策」
植木・水稻・野菜・果樹などの農作物への被害を防ぐため、捕獲檻の貸出しや猟友会への助成を行う。現在大阪府全域で鳥獣被害額・被害範囲が拡大傾向にあり、池田市においても今後被害が増加する恐れがある。被害を最小限に抑えるべく、今後も継続して防止対策事業を行っていく。	

事務事業評価シート

23年度実施の事務事業 (24年度評価実施)	<input checked="" type="checkbox"/> サービス事業 <input checked="" type="checkbox"/> プロジェクト事業 <input checked="" type="checkbox"/> 定型事業 <input checked="" type="checkbox"/> 投資的事業			
会計区分(会計名を記入)	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計		<input type="checkbox"/> 企業会計	
第1期実施計画での 分類番号/事業番号/枝番号	1062	4	担当部課名	市民生活部地域活性課
			担当課長名	東 勇輔

1 事務事業の概要

施策名	農園芸の振興
第1期実施計画の事業名	農業用施設管理事業
財務会計上の事業名	農業用施設管理事業
事業の対象【誰(何)を】	農家
事業の手段【どうする(させる)ことで】	農業用施設の維持管理
事業の目的【どのような結果を得るか】	農業用ポンプ等の維持管理(修繕・電気料金支払)
実施期間	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 (昭和48年度 ~) <input type="checkbox"/> 時 限 (平成 年度~平成 年度)
事業内容の見直し	<input type="checkbox"/> 実施 (直近) 平成年度 <input checked="" type="checkbox"/> 未 実 施
※見直し内容を記入	
実施根拠	<input type="checkbox"/> 国・府の制度 <input checked="" type="checkbox"/> 国・府の制度+市独自の制度 <input type="checkbox"/> 市独自の制度
※根拠となる法令の条項までを記入	大阪府耕地事業補助金交付要綱、池田市農業振興事業補助金交付要綱他

2 事業コスト・指標値の推移

事業 コスト 等	区 分	21 年度 (決算)		22 年度 (決算)		23 年度 (決算)		24 年度 (予算)		H23/H22
	事業費(千円)		1,315		2,082		1,356		6,953	
内 訳	人件費(人・千円)	0.10人	820	0.11人	880	0.10人	800	0.10人	780	90.9%
	正職員	0.10人	820	0.11人	880	0.10人	800	0.10人	780	90.9%
	再任用短時間勤務職員		0		0		0		0	-
	任期付短時間勤務職員		0		0		0		0	-
	非常勤職員		0		0		0		0	-
	アルバイト		0		0		0		0	-
支出合計 A		2,135		2,962		2,156		7,733		72.8%
財 源	国・府支出金									-
	受益者負担 B									-
	その他財源									-
	一般財源		2,135	2,962	2,156		7,733	72.8%		
受益者負担率 B÷A									-	

指標 値	区 分	内 容	単 位	21 年度 (実績)	22 年度 (実績)	23 年度 (実績)	24 年度 (予定)	目標値 (H26)
	(1)	<input type="checkbox"/> 活動 <input checked="" type="checkbox"/> 成果	電気料金の制御	千円	1,315	1,299	1,293	1,293
(2)	<input checked="" type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果	水利組合への指導	回	2	2	2	2	2
(3)	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
(4)	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							

3 成果の達成状況

<input checked="" type="checkbox"/> A 目標に向かって順調に推移している	<input type="checkbox"/> 1 事業内容・手法を改善	選択の理由	農業用施設の維持管理
<input type="checkbox"/> B 目標に向かって順調に推移していない	<input checked="" type="checkbox"/> 2 現在の事業内容を継続		
<input type="checkbox"/> C 判断できない	<input type="checkbox"/> 3 事務事業を廃止		
(参考) 今後のアウトソーシング導入の可否	<input type="checkbox"/> 1 導入済 <input type="checkbox"/> 2 事業の全てが可能 <input type="checkbox"/> 3 事業の一部が可能 <input checked="" type="checkbox"/> 4 不可能	選択の理由	事業の性格による

4 担当部長が考える今後の方向性・見通し

評価を踏まえた課題と対策	(参考)昨年度記載の「評価を踏まえた課題と対策」
各水利組合と連携・協力が適切な管理が行われている。しかしながら、ポンプや樋門、堰など、施設の老朽化が進んでいるため、今後修繕等の件数増加が予想される。修繕にあたっては各水利組合と充分協議をすると共に、農家に対して安定的な農用水の供給に努める。	

事務事業評価シート

23年度実施の事務事業 (24年度評価実施)	<input checked="" type="checkbox"/> サービス事業 <input type="checkbox"/> プロジェクト事業 <input type="checkbox"/> 定型事業 <input type="checkbox"/> 投資的事業			
会計区分(会計名を記入)	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計() <input type="checkbox"/> 企業会計()		財務会計上の短縮番号	4020
第1期実施計画での分類番号/事業番号/枝番号	1062	99	担当部課名	市民生活部地域活性課
			担当課長名	東 勇輔

1 事務事業の概要

施策名	農園芸の振興
第1期実施計画の事業名	農業委員会運営事業
財務会計上の事業名	農業委員会運営事業
事業の対象【誰(何)を】	農業者
事業の手段【どうする(させる)ことで】	農地法各申請に伴い、定例農業委員会を毎月開催し、適正な事務処理を行う
事業の目的【どのような結果を得るか】	農地法各申請の審査受理、農地紛争の処理、農家・農業に関する啓蒙活動
実施期間	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 (昭和26年度 ~) <input type="checkbox"/> 時限 (平成 年度~平成 年度)
事業内容の見直し	<input type="checkbox"/> 実施 (直近) 平成 年度 <input checked="" type="checkbox"/> 未実施
※見直し内容を記入	
実施根拠	<input checked="" type="checkbox"/> 国・府の制度 <input type="checkbox"/> 国・府の制度+市独自の制度 <input type="checkbox"/> 市独自の制度
※根拠となる法令の条項までを記入	地方自治法第180条の5

2 事業コスト・指標値の推移

区分	21年度 (決算)		22年度 (決算)		23年度 (決算)		24年度 (予算)		H23/H22	
	事業費(千円)	982		411		495		466		120.4%
人件費(人・千円)	1.50人	12,300	1.24人	9,920	0.60人	4,800	0.60人	4,680	48.4%	
内訳	正職員	1.50人	12,300	1.24人	9,920	0.60人	4,800	0.60人	4,680	48.4%
	再任用短時間勤務職員		0		0		0		0	-
	任期付短時間勤務職員		0		0		0		0	-
	非常勤職員		0		0		0		0	-
	アルバイト		0		0		0		0	-
支出合計 A	13,282		10,331		5,295		5,146		51.3%	
財源	国・府支出金									-
	受益者負担 B									-
	その他財源									-
	一般財源	13,282		10,331		5,295		5,146		51.3%
受益者負担率 B÷A									-	

指標値	区分	内 容	単位	21年度	22年度	23年度	24年度	目標値 (H26)
				(実績)	(実績)	(実績)	(予定)	
(1)	<input type="checkbox"/> 活動 <input checked="" type="checkbox"/> 成果	農地法による各申請届出の適正処	%	100	100	100	100	100
(2)	<input checked="" type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果	総会の回数	回	12	12	12	12	12
(3)	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
(4)	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							

3 成果の達成状況

<input checked="" type="checkbox"/> A 目標に向かって順調に推移している <input type="checkbox"/> B 目標に向かって順調に推移していない <input type="checkbox"/> C 判断できない	<input type="checkbox"/> 1 事業内容・手法を改善 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現在の事業内容を継続 <input type="checkbox"/> 3 事務事業を廃止	選択の理由	農地法各申請の審査受理、農家・農業に関する業務等の適正な事務処理を行うため事業を継続。
(参考) 今後のアウトソーシング導入の可否	<input type="checkbox"/> 1 導入済 <input type="checkbox"/> 2 事業の全てが可能 <input type="checkbox"/> 3 事業の一部が可能 <input checked="" type="checkbox"/> 4 不可能	選択の理由	事業の性格による。

4 担当部長が考える今後の方向性・見通し

評価を踏まえた課題と対策	(参考)昨年度記載の「評価を踏まえた課題と対策」
高齢化が進み、社会が大きく変化するなか都市における農地の保全・優良農地の有効利用の観点から、農家の悩みを聞き、対処法を紹介し、どのような対処法がその農家にあっているかを一緒に考え、支援が必要であれば農業委員会として関係団体や行政との橋渡し役となり農地における法的手続きが迅速に行われるよう今後とも継続していく。	